

どうする鹿害対策

〓答〓 国の緊急対策事業で対応

ければ難しい。
滝上町も高齢化率は高くなっているが、元気なお年寄りも多い。その人たちの協力も得て何らかの方法を検討して建物を有効利用していくのが一番と思います。

安心して預けられる施設というのは、保育所は当然ですが保育をしない時にも遊ばせる施設、保育所が終わった後に利用できるような形に持っていくのも一つと思ってます。

町内の各種団体の事務所に使ってもらおうとか、建物自体は有効にまだ使えると思うがいかがか。

△長屋町長▽

行政の継続性ということからはできるだけ早い段階で使う場合には用途を決めてそれに向けて進めるといふことをしなければならぬと考えています。

△茂木議員▽

北海道の発表によると全道で鹿の頭数が64万頭、その内、十勝、根釧、オホーツクの3地域で32万頭ということです。

少しでも減らすという観点から昨年から狩猟の期間が延びているが、捕獲頭数は伸びていない。

今年も既に猟期は始まっていますが、北海道が管理している道路、道道の雄柏、白鳥の居住地から奥の方で既にゲートが閉まっています。11月末の冬期閉鎖ですが、奥に農地、山林等の所有者にはゲートの鍵は貸しているとい

う話ですが、狩猟者には貸していない。

山林の所有者から聞いたが、ゲートまでは、

それ程鹿はいないが、閉鎖ゲート以降は昼間

でもものすごいと、なおかつ、牧草畑の被害、

植林した木を倒し、食害もある。

少しでも減らすために根雪になるまでゲートを開けて置けないのか。

道は事故が起きたら危険だということに閉めてると思う。

少しでも減らさない

と来年以降また山林、農業にすごい被害になると思う。

道としては一方では

鹿の数を減らしたい。

冬期間の問題があるためにゲートを早めに閉めてしまおう。

矛盾した対応をしていると思う。

町としても、道に対して強力に要請してほしい。

△長屋町長▽

鹿の被害は全道的に非常に大きな問題になっており、自然保護団体の要請もあり、道も及び腰の所もあったが、緊急事態という認識であらうと思います。

道路、特にゲートを閉めることによって狩猟に影響があるということですが、基本的に

は道道の管理はオホーツク総合振興局網走建設管理部紋別出張所が管理していて、今、雄

柏、白鳥の道道が11月30日から5月いっぱい。

道は一番奥の民家の近いゲートを閉めることが行われています。

ゲートの鍵ですが、農地、山林の所有者が仕事の都合でそこを通りたいという時には鍵を貸してもらえます。

もう一つは今回、鹿の緊急対策事業では町村も相当いろんな要望をしておりまして、このゲートについても要望してきております。

町でゲートの鍵を三つ申請して、事業を委託している滝上町農業振興公社に貸している。捕獲した鹿の運搬については公社が担当していますので、鍵を持っている。

必要に応じて狩猟者に貸し出すことになっ

一般質問

てます。

町としても農林業被害の減少に冬の間、狩猟によって鹿の数を減らしていくことが春先の被害を防ぐことができます。

事業では12月14日現在、110頭捕獲しています。

そういうことで町としても積極的に鹿の数を減らすことに取り組んでいます。

また道にも狩猟期間が延びたのも、町村の要望があって延びた。

道道のゲートについては、交通安全の観点から基本的に閉めるということがやむを得ない。

そういう中で鍵を既にこちらの方でも借りています。

事業以外の狩猟者に対して、その鍵を使ってゲートを開けて狩猟してもらおう。

△茂木議員▽

一般狩猟者への鍵の貸し出しの対応は町か、公社か。

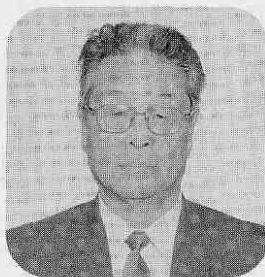
△吉田林政商工観光課長▽

一般狩猟者については、鍵の件ですが事業としては、町が農業公社に事業を委託している関係で実際には鍵は町と公社で管理します。

政府の政策に対する

町長の考えは

＝答＝ TPPについては断固反対



岩崎議員

△岩崎議員▽

共同通信社と加盟新聞各社が実施した全国の首長を対象としたアンケートの結果が、道新で報道された。

全国では99・8%、北海道は道と市町村の全首長が回答した。

一点目、自治体の財政政策については将来の見通しも含めて全国の78%の首長が不安を抱いていますが、これ

に対する町長の考えを伺います。

二点目、道内首長の消費税率については、「早期に引き上げ」21%「将来的に引き上げ」62%合わせて83%が引き上げが必要と考えているそうです。

引き上げる際の望ましい税率は10%程度で66%、増収分の使い途は社会保障関係経費が82%といずれも全国と

北海道は同傾向だった。

消費税率等について町長の考えを伺います。

三点目、全国では反対の方が多かった道州制の導入について、道内では賛成が48%で反対の44%を上回った。

道州制に対する町長の考えを伺います。

四点目、子ども手当の支給について、これは賛成、反対が拮抗していますが、町長の考え

を伺います。

五点目、高校授業料の無償化について、推進意見が過半数ということですが、町長の考えを伺います。

六点目、農家の戸別所得補償制度の賛否が全国でこれも拮抗している。

道内では「推進」、「どちらかと言えば推進」計52%、「中止」、「どちらかと言えば中止」